

きのこ部会の部会長  
武田光市さんにインタビュー



きのこ部会は2009年（平成21年）の3月から活動を開始。それから12年間、武田さんは部会長を務めてこられました。そんな武田さんにインタビューしました。（聞き手 中村節子）

## 中村 きのこ部会の現在の活動は？

武田さん（以下敬称略） しいたけの菌床（おがくずを固めて、しいたけの菌を植えたもの）を配布し、食育学習を行う「食育プロジェクト」が中心です。これは壬生町の「北研（ホッケン）」というキノコを製造販売する会社が「子どもにもっとキノコを知ってもらいたい」と、私に相談してきました。2010年のことでした。それから、下野市の全ての小学校（市立12校と栃木県立国分寺特別支援学校）を北研の社員の方と私が回って説明しました。10校の小学校が「やりたい」と言ってくれて、その秋に活動が始まり、もう11年経ちました。今は小学校の数は5～6校です。去年は新型コロナの影響で、2校だけに行いました。

## 中村 全校生徒対象ですか？

武田 1校で60～80個で、5年生中心です。生徒が少ない学校では6年生や4年生にも配布します。1人1個で、自分のしいたけを世話します。

## 中村 子どもたちは、どのようにしいたけの世話をしているのですか？

武田 北研が3カ月位、育てたものを持ってきてくれます。まだ、芽は出ていません。子どもは登校と下校の時に自分のしいたけに水をやります。1週間ほどすると、しいたけが出てきて2～3日で食べられるようになります。収穫したものは家に持ち帰って、自由に食べます。

## 中村 子どもたちの反応は？

武田 大喜びです。ワクワクしています。しいたけの菌床を配るだけでなく、北研の社員の方が、キノコに関するお話し、例えば、キノコの種類、シイタケはどうやって栽培するか、その過程や、収穫期間、収穫方法を話してくれます。

中村 ところで、きのこ部会ではハイキングに行ってキノコ狩りをしていたと聞きますが、今はどうですか？

Think globally. Act locally. 地球規模で考え、足元から行動しましょう



武田 きのこ部会の会員が40名以上いたこともあり、その時は年に4回ほど、日光の戦場ヶ原や小田代ヶ原、矢板の県民の森、日立海浜公園などでハイキングをしつつ、キノコも採っていました。北研の社長の川嶋さん（現在は会長）が食べられるキノコをちゃんと教えてくれるので、とても楽しかったですよ。会員が年を取ってきてしまい、山歩きが辛くてなり5～6年前からハイキングには行っていません。残念です。

中村 色々楽しいお話をありがとうございました。

武田 こちらこそありがとうございました。



武田さんは今年1月に80歳になられ、それを機に運転免許を返納されたこともあり、残念ながら4月の総会を最後に本会を退会されました。今後はお近くの石橋北小の食育プロジェクト中心に活動されるということです。長い間、ありがとうございました。



## 「とちぎ里山塾」に参加して

とちぎ里山塾は里山林整備のための知識を学び体験する講座でした。刈払機やチェーンソーの使い方を学び、実際に下草刈りをしたり、立木を伐採したりする体験もありました。また、里山林の活用ということで、薪づくり・竹林の整備や竹工芸・炭焼などの体験や講義もありました。



その中で、一番印象に残っているのは、立木を切り倒したことでした。さすがに立木を切り倒すのは怖かったです。木が傾き、地面に倒れる時は「ドシーン」と大きな地響きがしました。予想外の方向に倒れたり、倒れた木が跳ね返ったり、枝が折れて飛んできたり、逃げる時につまずいて転んだり・・・と危険がいっぱいです。チェーンソーを使うのは初めての



体験で、あの大きな音と振動だけで、恐怖心をおぼえます。立木を切る前には先生から色々なことを教えてもらったのですが、いざ、木の前に立つとすっかり忘れ、頭の中は真っ白になってしまいました。途中で先生が笛を吹いたりして、作業を止めさせようとするのですが、全く気づきませんでした。結局、思い通りの方向に木は倒れ、結果オーライだったのですが、先生からはしっかりとダメ出しを受けました。

この経験を活かして、これからも地蔵山の木をたくさん切り倒していきたいと思います。（渡邊洋一）

★とちぎ里山塾 全6回の講座。本会からは杉浦、川俣（将）、渡邊、中村（節）が参加

## 新会長のご挨拶

この度の総会において、岡本前会長からバトンを受け、下野市自然に親しむ会の会長を務めることとなりました平澤です。皆様方の支援を賜りながら、この大役に取り組んで参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

就任にあたり抱負を申し上げる前に、岡本前会長の会へのご尽力に対して、心から敬意とお礼を申し上げたいと思います。震災やコロナ禍のなか、行政や地域と会との橋渡しをされ、見事にリーダーシップを発揮されました。

さて、自然に親しむ会は発足から10数年たち、その間に大きく成長したと認識しています。行政、公民館、小学校、各種協議会などとの協働作業を通じて、それらとのパイプを持つことが出来ました。今後は、これらのパイプを大事にしながら、会の充実を図っていきたいと思っています。また、環境保全に関しての水生生物調査(環境省全国水生生物調査)、上古山湿地の定点観察(環境省生物多様性調査=モニタリング1000)や地蔵山の整備などの活動を継続していきます。さらに、しもつけ産業団地の整備における植物保全や閉校予定の小学校の付属施設再利用について行政へ働きかけをしていきたくと思っています。

これらの活動を支えるためには、人材が必要です。発足時と比べると会員数も少なくなっており、年齢も上昇しています。継続的な活動のためにも会員数の増加が喫緊の課題かと思っています。これらの課題にコツコツと取り組んで参りたいと思います。皆様のご協力を重ねてお願い申し上げます。私の就任の挨拶とさせていただきます。(平澤幸彦)



## ミツバチがゴキブリ退治！？



昨年に続き、今年も2段の巣箱をそのまま稲わらで覆って越冬させた。時折、上部の巣箱の蓋を開けて中を覗いたことがある。夜になると、ミツバチは下段の巣箱に集中し、団子のように集まって寒さに耐える。空になった上段の巣箱では、ゴキブリが自由に横行していかにも荒れ果てているように見えた。蓄えられた蜂蜜はどうなるのだろう・・・と心配するほど。暖かくなったら、このゴキブリを何とかしなくては、とずっと思っていた。

ところが今朝、巣箱前にミツバチに混じってゴキブリの死骸がたくさん見受けられた。若いゴキブリも含まれていることから、いかにも殺されたように見える。この閉鎖系の巣箱の中で、何が起こったのだろう。ミツバチが攻撃したようにしか見えない。暖かくなって、ミツバチが上段の巣を利用するようになり、頻繁に行き来するようになったものと思われる。でも、どのようにしてゴキブリを殺すことができたのだろうか？ミツバチの一刺しで、ゴキブリを死に至らしめることができるのだろうか？(田中利典 2020年2月記)

## ホタル里親の会のお誘い

### お手伝いして下さる方 大募集！

今年もホタルの季節がやってきます。これまでホタル公園（下野市仁良川）ではホタルを定着させる幾多の試みがなされましたが、いずれも失敗しました（昨年の結論は出ていませんが）。そこで、今年は、幼虫の飼い方に工夫を凝らすことにしました。

5月下旬からホタルの飼育が始まりますが、1. をご自宅で、2. をホタル公園でやってみたい方を募集します。

1. ホタルの成虫を室内で飼育して、産卵させる。その後、約三週間かけて卵が孵化するまで観察する。

2. 卵から生まれた幼虫を、ホタルハウス内の水路に沈めた箱の中で飼育する。

今年こそホタルを公園のハウス内に定着させることができるとワクワク😊しています。でも、その楽しみを1人占めする気はありません。ぜひ、皆でホタルを育てて、下野市の夜空にホタルを飛ばしましょう。ぜひ、ご参加ください。（杉浦健夫）



詳しいことは杉浦までお問い合わせください

電話 080-3126-9751 メールアドレス [sugi.tanty@apple.email.ne.jp](mailto:sugi.tanty@apple.email.ne.jp)

ご連絡お待ちしております。

## お花見ができなくなる!?

クビアカツヤカミキリ（特定外来生物）を知っていますか？

桜・桃・梅などのバラ科の樹木を食害し枯れさせます。下野市には天平の丘公園の桜があり、要注視項目です。

2012年に初めて愛知県で成虫が発見されて以降、近隣では2017年6月に佐野市、足利市で、2018年10月に栃木市、2019年6月に隣の小山市で被害が発見されました。

クビアカツヤカミキリの成虫は2.5~4cmで、幼虫は樹木内部に入り込み、1~3年かけて樹木の内部を食い荒らします。2~3年で成虫となり、6月上旬から8月上旬に樹木の外に出てきます。幼虫が樹木を食害するときに、木の外に大量のひき肉状のフラス（木くずとフンの混じったもの）を出すのが目印になります。寄生された樹木は衰弱して枯死し、倒木等のおそれがあります。また、農作物や生態系への被害が拡大も心配です。被害が進行してしまった木は虫の駆除が困難なため、伐採することになります。

見つけたら逃がさず捕殺し、県の自然環境課 028-623-3207 まで連絡をお願いします。（手塚英男）



ツヤのある黒色と赤い胸（首）が特徴



目印になるフラス



ミサゴ(オスプレイ)という  
もうきん類が2羽、  
ゆうゆうと飛んで  
いました。

スコープを使って



鳥を見る



クコの実を食べて  
みた。ナスの仲間。  
アニンノウアに入っている  
赤い実だよ。



甘いけど..  
ちょっと苦いかなー

### ジャコウアゲハ



虫々はいけからたけど  
幼虫1匹とサナギが  
いくつかいた。サナギは  
生きてるのはキレイな  
色だけど、死んでるのは  
黒っぽかった。

下野市自然に親は会  
S. Nakamura

# 親子で体験!

2020

南河内公民館講座

2020.11.28(土)

at 蔓巻公園



ヨシノボリ・カマツカ  
ヤゴ(トンボの幼虫)がいたよ



ヨシノボリ

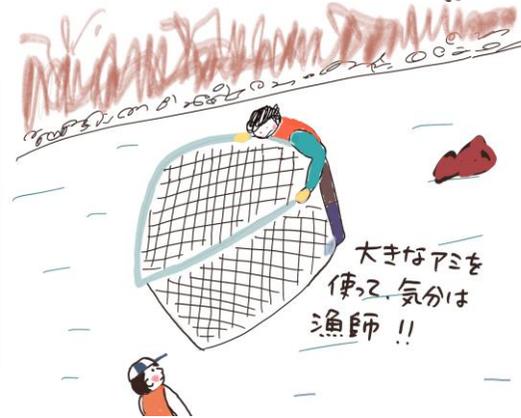


葉っぱ  
アヒカ  
トクイ



オムラサキの幼虫が  
いたよ!

エノキの葉の  
裏で冬越ししているオムラサキの  
幼虫。日本の国蝶なんだよ。  
よく仙人ているゴマダラチョウも  
発見



大きなアミを  
使って、気分は  
漁師!!

ぽかぽかと暖かいお天気の中、コロナ感染に気をつけて実施しました。冬であまり生き物がいないかな?と心配していましたが、色々な発見があり、楽しい会となりました。皆さんお疲れ様でした!

## 🌱 下野市自然に親しむ会 会員募集 🌱

本会には多くの部会があります。私たちと一緒に、新しい生き物を見つけたり、保護したりしませんか。また、有機栽培部会で安全な野菜を作ったり、おもしろ理科教室部会で子ども達に科学の楽しさを伝えたりもできます。星空の観察、雑木林の整備(里山部会)などの活動もあります。

下の表に、部会名と活動日などが記載してあります。複数の部会に入ることができます。入会ご希望の方は、各部会長、または会長の平澤幸彦(090-9802-4876、y-hira@silk.plala.or.jp)か、事務局の杉浦健夫(080-3126-9751、sugi.tanty@apple.email.ne.jp)にご連絡ください。Facebook もやっています(下野市自然に親しむ会)ので、ご覧になってメッセージを送っていただいても大丈夫です。

部会名	活動日	部会長名	連絡先
植物部会	第3日曜日午前	金井博史	090-9802-4876 (平澤)
昆虫部会	不定期	手塚英男	090-4945-9748
〃 (ジャコウアゲハ保護部会)	不定期	杉浦健夫	080-3126-9751
水辺の動植物部会	第1土曜日午前	杉浦健夫	080-3126-9751
探鳥部会	第1日曜日午前	保坂安美	090-4204-1982 (菊田)
きのこ部会	不定期	平澤幸彦	090-9802-4876
蛍の会	第1土曜日午後	杉浦健夫	080-3126-9751
おもしろ理科教室	土日の午前中	西郷 敏	090-3219-6604
〃 (星空部会)	不定期	各務 温	090-1776-6639
有機栽培部会	第2土曜日 10 時	岡本英樹	090-8306-4737
里山部会 (雑木林整備)	第3土曜日午後	中村節子	0285-44-4222
下野塾	不定期	鈴井祐孝	0285-53-4562



### 入会申込書

- ・ 名前:
- ・ 住所(公表しません):
- ・ 生年月日(保険加入に使うことがあります。公表しません): 年 月 日
- ・ 電話番号(公表しません): 固定 ;02 - - 、携帯;0 0- -
- ・ メールアドレス(公表しません):
- ・ 会員区分(年会費、○で囲んでください): 個人(1,000 円)、  
小学生~高校生(400 円)、家族会員(何人でも 1,400 円)
- ・ 移動手段: 自家用車で移動できますか? Yes No
- ・ 入会希望の部会(○で囲んでください。幾つでも結構です): 植物部会、昆虫部会、水辺の動植物部会、探鳥部会、きのこ部会、蛍の会、有機栽培部会、里山部会、下野塾、おもしろ理科教室(講師、助手)、星空部会、ジャコウアゲハ保護部会